

## ふたみ総合支援センターの相談対応状況等について（報告）

## 1 体制

社会福祉士の資格を有する管理者1名（明石市）、専任者2名（社会福祉協議会）の3名体制

## 2 相談対応状況

## (1) 4月

- ・相談件数 延べ140件、実68件（内、訪問件数 延24件、実22件）
- ・相談内容 生活状況の確認（日常生活の買い物や掃除、食事などの困りごと等）101件が最も多く、次いで介護保険に関する相談（末期がんの在宅ケア、住宅改修・デイサービスの利用等）54件、保健・福祉に関する相談（外出支援サービス、緊急通報システム等）37件

※ 障害や子育てに関する相談はない。

- ・相談経路 地域包括支援センターからの18件が最も多く、次いでその他11件、家族11件

## (2) 5月

- ・相談件数 延べ108件、実73件（内、訪問件数 延20件、実19件）
- ・相談内容 生活状況の確認（ADLの低下による日常生活の困りごと等）63件、次いで介護保険に関する相談（介護用ベッドの利用、住宅改修等）52件、保健・福祉に関する相談（緊急通報システム、ひとり暮らしの登録・削除等）37件

※ 障害や子育てに関する直接の相談はないが、高齢者と何らかの障害を抱える家族や、高齢者本人が障害を有するケースの対応を行っている。

- ① 高齢者（要支援1）と40代の娘2人（強迫性障害の疑い）からなる世帯に対する対応
  - ② 統合失調症の生活保護を受給者で、ひとり暮らし高齢者世帯に対する対応
- ・相談経路 家族からの相談が11件、次いで民生児童委員からの相談が6件、本人からの相談とその他の相談が各々5件

## 3 その他

## (1) 介護予防教室（ふたみ元気アップ）

平成28年4月21日 みなと記念ホール 18名参加

## (2) 出張相談（福祉なんでも相談）

平成28年6月22日 二見北小学校区コミュニティ・センター

## ① 相談件数

合計5件（内訳：高齢者に関する相談2件、障害者に関する相談1件、子どもに関する2件）

## ② 相談内容

<高齢者に関する相談>

- 叔母（高齢者）のデイサービスの利用等介護保険制度に関する相談
- 現在入院されている高齢者の退院後の福祉サービスに関する相談

<障害者に関する相談>

- 50代の男性が勤務中に意識不明となり、現在も失語症と四肢麻痺が残存。現在傷病手当を受給しているが、諸手続きを含めた今後の生活に関する相談

<子どもに関する相談>

- 民生児童委員より、ネグレクトの疑いで子育て支援課に相談したケースに関する相談
- 小学生2人がいる父子家庭について、父親の就労と子どもの見守りに関する相談

## 2 (2)

- ① 77歳の高齢者（要支援1）と40代の娘2人（強迫性障害の疑い）からなる世帯で、アパートに住んでいる。居室内は娘2人が購入した衣類や本、新聞等が山積み状態で、夏でも濡れた下着を電気ストーブで乾かすため、火災が発生するリスクが高い。そのため、センターは定期的に高齢者の受診同行を行うとともに、娘との信頼関係の構築に努めている。
- ② 66歳の統合失調症の生活保護受給者で、単身でアパートに住んでいる。居室内は不衛生な状態で、何年も入浴をしている様子はない。対人拒否があり訪問看護（精神医療）以外のサービス導入には応じないため、センターは、地域住民とともに見守りを続けている。

### 今後の対応

- さきほどご説明しましたが、6月22日からセンターの立地の不便さ解消対策として、二見北まちづくり協議会と連携し、サテライト相談窓口を定期的に開設します。また、迅速かつ的確な相談対応を行うため、積極的なアウトリーチを行える体制整備を図っていきます。
- 地域総合支援センターの設置に向けた検討を行う観点から、複合多問題等の支援困難ケースへ対応するとともに、専門機関と地域住民とのパイプ役としての役割を担っていきます。
- 認知症や悪質商法に関することをテーマとした介護予防教室を二見校区全域を対象として開催するとともに、個別支援から地域の課題を抽出する課題化会議としての運営方法を確立していきます。